

第 14 回きたひろしま都市型観光推進協議会 議事

- 1 日時 平成 30 年 3 月 22 日（木） 18 時 30 分から 20 時 00 分
- 2 場所 北広島市役所 1 階 多目的室 1
- 3 出席状況

NO	氏 名	職 業 等	出欠
1	山 田 久 俊	北広島市観光協会会長	出
2	山 崎 悦 子	北広島商工会会員（行政書士山崎法務事務所）	出
3	(副座長)千 葉 隆 一	札幌ゴルフ倶楽部 支配人	欠
4	木 田 勝 彦	札幌北広島クラッセホテル総支配人	出
5	(座長)川 口 満 久	ホクレン農業協同組合連合会 管理本部販売推進部（くるるの杜）	出
6	三 上 太 一	三井アウトレットパーク札幌北広島所長	出
7	三 浦 麻 衣	市民（会社員）	出
8	善 甫 啓 太	市民（会社員）	出
9	山 田 基	北広島市経済部観光振興課長	出

きたひろしま都市型観光推進協議会事務局

所 属	役 職	氏 名
経済部観光振興課	主 査	青 木 潤
	主 事	千 葉 啓
	主 事	山 本 梢

傍聴者

人 数
0 人

4 議事録

1. 開会

事務局) お時間になりましたので第 14 回きたひろしま都市型観光推進協議会を始めさせていただきます。

まず本日は、委員の過半数が出席されておりますことから、会議は成立していることを報告させていただきます。

それでは早速ですが、座長に進行をお願いいたします。

2. 議事

座長) それでは、次第のとおり 14 回目の都市型観光推進協議会を始めさせていただきます。本日は、議事と報告が 1 件ずつあります。まずは議事の「来年度の都市型観光推進事業の取組みについて」、事務局の方から説明をお願いします。

事務局) 観光振興課の取組みについて、資料に従いまして事業の概要を説明いたします。

①観光振興事業としては、毎年開催しております「北広島ふるさと祭り」、「北の酒まつり in きたひろしま」、「北広島ふれあい雪まつり」の主催であります北広島市観光協会への補助が主な内容となっております。

昨年からの変更点としては、北広島ふるさと祭りが今年度で 40 周年ということで周年事業を企画しています。

②都市型観光推進事業は、「北広島市の都市型観光の方向性について」を踏まえて、行政で出来る部分は引き続き実施しながら、この推進協議会では具体的にご意見をいただく場として開催したいと考えています。

各種イベントにおいてもプロモーション活動を実施いたします。毎年行っているサッポロビヤガーデン「ふるさと応援ステージ」のほか、今年は広島県のマツダスタジアムにおいて「わがまち魅力発信隊」という特設ブースに出店します。6 月 7 日が日本ハムファイターズと広島東洋カープの交流試合があるということで、ブースや大型ビジョンにおいて観光の PR を行います。

また食資産を活用した観光 PR につきましては、「きたひろ農学校シリーズ」を活用して、東千歳駐屯地や北広島ふるさと祭り等に出店・販売をし、観光 PR を行います。

次にインバウンドの取組みにつきましては、アジアゴルフツーリズムコンベンション 2018（以下、「AGTC」とする。）と北海道ゴルフツーリズムコンベンション 2018（以下、「HGTC」とする。）に参画します。

AGTC は、国際ゴルフツアーオペレーター協会が主催するアジア・パシフィック最大のゴルフ観光見本市です。北広島市は HGTC の代表として商談等に参加します。HGTC とは、ビジットジャパン地方連携事業の一環で、東南アジアの旅行会社等を対象として、北海道のゴルフ場に視察や買い物やグルメなど、観光を体験してもらう招聘事業であります。一昨年は千歳市、昨年は苫小牧市が開催地でしたが、今年度は北広島市がホストとなります。北広島市をメインとしてゴルフ場でのプレーや飲食店を周っていただくと話を伺っております。旅行会社にはツアー造成、メディアには情報発信を促しているところです。

またインバウンドの取組みの1つで「きた北海道広域観光周遊ルート推進協議会」というものがございます。北広島市には宿泊施設があるので、観光拠点の1つとして参加しています。平成29年度では、モデルルートの造成や招聘事業を実施しています。

同じくインバウンドの取組みとして「千歳・恵庭・北広島広域観光推進協議会」を平成29年度から新たに立ち上げました。こちらはレンタカーを利用する外国人旅行者へ安全なドライブの推奨や観光の情報提供を行う事業です。今年度は観光資源の棚卸しや情報発信をメインに行いました。来年度は協議会の運営、ファムトリップ、安心安全観光幕やドライブパンフレットの作成、台湾へのセールスコールを行うこととなっております。

③サイクルツーリズム等観光拠点整備事業につきましては、まずツール・ド・キタヒロという自転車のイベントを3回開催予定です。今年も各回40名の定員で募集をかける予定としております。

サイクルスタンドの設置は、今年度は8か所でしたが、来年度は13か所設置する予定でございます。場所については改めて調整いたします。

インバウンド招聘ツアーです。昨年始めて開催した事業ですが、台湾の旅行会社の方にサイクリングや食事、買い物を体験していただき市内の魅力を知ってもらうこと、台湾人向けのモデルコースを作成して欲しいということで今年度も予算を計上しています。

サイクルツーリズムコンセプトブックも在庫がなくなりましたので増刷をいたします。

広告の掲載については、北海道商工会議所連合会が事務局を務めるサイクルツーリズム推進連絡会が発行している冊子に掲載を予定しています。また、首都圏プロモーションとして埼玉サイクルエキスポにサイクルツーリズム推進連絡会と連携して出展いたします。

最後になりますが、サイクルツーリズムの新規の取組みということで、1つ目は観光セミナーを実施します。市民や市民団体、商工業者などを対象に本市の観光資源や観光事業などを知っていただき、ゆくゆくは観光ガイドの育成に繋がるように開催していきたいと思っております。

2つ目としましては、観光プロモーション動画の作成です。市では観光PR動画を持っていなかったの計上しています。この協議会で検討した都市型観光の方向性に基づいて地域の観光資源を取り上げた3分程度の動画を作成しようと考えています。各イベントでのPRやホームページへの掲載、商談会で活用します。

座長) 取組みに関しましてご意見ありましたらお願いします。

○委員からの意見

- 「千歳・恵庭・北広島広域観光推進協議会」の事業で、安心安全ドライブの推奨とありますが、外国人旅行者はどのルートを通る予定でしょうか。北海道の道路を乗りなれていない方が住宅地を走るのは抵抗があります。希望を伝えていただけののであれば、輪厚のスマートインターチェンジから団地地区を通過する車もあるかと思しますので個人の方がレンタカーで走るようになるなら注意が必要だと思います。
 - ドライブルートは夏と冬に分けて作成します。冬は特に安全性に配慮して私たちも普段使用するような主要道を選定します。夏は冬の応用版で、観光地を巡るようなルートになります。一般的に沿線に観光施設がないような生活道は通らない形になると思います。

- レンタカー会社は、冬場はレンタカーを外国人に貸していないと思います。キャンプ場や道の駅を中心に回りますので団地地区に入ることも少ないと思います。
 - 協議会にはレンタカー会社も入っていますが、冬場もレンタルしているとのこと。事故が多く返却された車両の状況が悪いとは聞いています。冬の運転に関しては自動車学校と連携して冬道講習を体験していただくようなメニューも考えています。
- 安心ドライブの推奨とありますが、北海道の自転車の交通マナーは本州よりもかなり悪いです。台湾の交通マナーも悪いので、交通マナーの向上は車も自転車も行うべきです。
- 観光ガイドの育成についてはなぜか安全の観点が欠落しがちです。自転車のガイドは自転車に乗れたら良いというものじゃない。北海道アウトドアガイドという資格を私も持っていますが、トムラウシ山遭難事故を受けて、都道府県のなかでも北海道がいち早く作った制度です。自転車も転んだら怪我をしますから、応急手当をする必要があります。上級救命講習の受講者など安全の観点から要件を定めた方が良いでしょう。
 - この1~2年で全国的に安全性を重視した講習会や実地講習などを実施する動きが出てきます。札幌ではさっぽろサイクルラボの事業で自転車観光ガイドの養成講座の開催を予定しているようで、安全性を重視したツアーが期待されているなかで北広島市が率先して行えばなにか特色になるかなと思います。

事務局) 千歳、恵庭、北広島の3市の広域で行っているのは、新千歳空港から道内の観光地に向かうためのゲートウェイとして、出来ることはないかという発想で始まった事業です。北海道内で年間約4万人の外国人がレンタカーを利用して、そのうち5割弱が新千歳空港で借りているので、それだけの人が3市の周辺を通過しています。

委員) 北海道にはホテルが少ないのでキャンピングカーを借りて夏場は走っています。大きい車なので運転は心配です。右側通行の国だと、交通ルールが違うので右車線からでも平気で右折してきますから。

事務局) 交通ルールについては千歳市が一番危惧していて、この後に民泊の話もありますが住民とのトラブルや価値観の違いが出てきて、千歳市だけではなくて広域的に周辺市町村で取り組んだ方がより良いという考えです。

旅行者向けの電柱幕を作成するという話もあります。よく「歩行者注意」などと書かれた交通安全の黄色い幕が電柱に巻いてあるかと思いますが、それを観光の案内、ルート表示に差し替えるというものです。もちろん道路管理者や警察の許可が必要ですから協議会の部会に参加していただいてどんなものなら取り付けできるか意見交換していきます。

空港の中はきれいに多言語化されたルート案内板が出ていますが、国道からが表示がない状態です。開発局と北海道警察と市町村が協議して作成する流れとなっています。電柱幕での観光案内は北海道内ではまだ事例がないことから、すでにある道路標識との整合性、視認性、耐久性を含めて実証的に実施したいと考えています。

レンタカーで北海道旅行を楽しまれている方が増えていますから、また動きが出たら皆様にご意見をお伺いしたいと思います。

3. 報告

座長) 続いて報告事項「北海道住宅宿泊事業の実施の制限に関する条例(案)について」、事務局の説明をお願いします。

事務局) 資料に基づき説明。

座長) 質問などは御座いますか。

○委員からの意見

- 特になし

4. 意見交換

座長) 全体を通してなにかありますか。

委員) 先日、出張の際に北広島市とサイクルツーリズムについてPRを行ってきました。市で作成したストーンペーパーのサイクリングマップを台湾の富裕層をターゲットにしている旅行会社に渡して説明してきました。ツール・ド・キタヒロについてはホームページにもまだ開催予定が掲載されていないこと、マップでも触れられていないので載せていただいた方が説明しやすいです。

あとは現地で自転車に乗っていた台湾人に渡してみたところ、偶然北海道が大好きな方で北広島も知っていました。エルフィンロードのようなコースがあれば是非行ってみたいとお話をもらいました。まず最初に返ってきた質問は、「コースを走るには事前に申込みがいるのか」ということでした。自分の自転車さえあれば誰の許可もなく走ることができること、交通ルールが台湾と違うので注意してくださいと伝えました。今後、台湾でセールスコールする際にもその辺を意識して、説明事項を目に見える資料にして渡せるものがあれば、興味を持ってくれると思います。

台北の淡水河は両側がサイクリングロードとなっています。レンタサイクルもあって道路の途中で借りたり返したりできます。サイクリングを楽しむ環境整備は日本よりも進んでいますが、北海道のような自然のなかを走れる環境がないので興味をもって聞いてくれました。インバウンドを連れてくるのは十分可能だと手ごたえを感じましたが、クラッセホテルは自転車で乗り入れ出来ないなので、宿泊場所は他市町村に取られてしまう可能性があります。

委員) ホテルとセットで誘致するということですね。

事務局) マップの修正については最新情報の書かれたホームページにQRコードで飛ばせばすぐに修正可能かと思います。

委員) どうせなら他の委員さんの意見も聞いてより良いパンフレットになると良いですね。

事務局) 石狩振興局の方で「札幌・石狩 FREE STYLE」という冊子を台湾向けの繁体字で発行しています。石狩管内の8市町村の情報をまとめて、各市町村のホームページにも飛べるようにしたのですが、当市も含めて台湾語の翻訳が十分ではないので情報的に正確なものなのかは整理が必要だと考えています。

委員) 北広島市のマップと北海道商工会議所連合会の冊子は地方空港のカウンターに置いてもらえるよう働きかけています。北広島市のマップはストーンペーパーを使用している珍しさからかかなり好評です。追加の依頼も来ていますから情報発信の場として利用していただきたいです。

事務局) 次回の協議会開催は新年度になることから、協議会の委員さんのなかでも交代等あろうかと思えます。日程や委員さんの選定などは別途調整します。

座長) あとは他になにかありませんか。なければ閉会にしたいと思います。

4. 閉会

座長) これをもって閉会とさせていただきます。お疲れさまでした。